

1. 石山 2. 一乗谷 3. 堺 4. 博多

1. ルネサンス — 十字軍 2. 宗教改革 — イエズス会 3. 宗教改革 — 十字軍 4. ルネサンス — イエズス会

1. 惣一揆 2. 徳政令 3. 下剋上 4. 執権政治

1. 十字軍 2. 宗教改革 3. 産業革命 4. ルネサンス

1. 海外との貿易を独占し、キリスト教の布教を認めることで南蛮文化を取り入れるため。
2. 将軍の命令を全国に徹底させ、守護大名の権限を制限することで幕府の権威を取り戻すため。
3. 領内の武士や農民の行動を統制し、領国を一つのまとまった組織として安定させ、他勢力との戦いに備えるため。
4. 朝廷から与えられた守護としての特権を誇示し、伝統的な荘園領主の権利を保護するため。

1. 分国法 2. 御成敗式目 3. 墾田永年私財法 4. 公事方御定書

1. 地動説を証明するために、西回りで航海して地球を一周することが目的であったため。
2. イスラム商人やイタリア諸都市に仲介料を奪われず、高価な香辛料を直接入手するため。
3. 北アメリカ大陸にあると信じられていた黄金の国「ジパング」を探索するため。
4. 当時中国を支配していた元との貿易を拡大し、絹織物や陶磁器を大量に輸入するため。

1. イギリス 2. オランダ 3. スペイン 4. ポルトガル

1. この武器の伝来と同時にフランシスコ・ザビエルによってキリスト教が日本に広められた。
2. この武器は高度な技術が必要だったため国内での製造ができず、終始輸入に頼っていた。
3. この武器は鉄砲と呼ばれ、その後の戦国時代の戦い方を集団戦へと大きく変化させた。
4. この武器は弓矢と呼ばれ、従来の騎馬武者による一騎打ちをより重視させるようになった。

1. 応仁の乱によって幕府の支配力が弱まり、各地で実力による領国支配が行われるようになったため。

2. 農業技術が向上したことで農民が完全に自立し、武士による支配が消滅したため。

3. 幕府が強力な中央集権体制を確立し、地方の武士に直接命令を下すようになったため。

4. 朝廷が新しい官位制度を導入し、能力に応じた地位をすべての人々に与えたため。

1. 朝廷の許可を得ることで、他の大名に対して官位の優位性を示すこと	2. キリスト教の布教を制限することで、領民の思想的な結束を図ること	3. 室町幕府の権威を背景に、近隣の守護大名との同盟を維持すること	4. 家臣が独自の軍事力を持つことを抑え、大名による領国支配を強化すること
------------------------------------	------------------------------------	-----------------------------------	---------------------------------------

1. 実力のある下の者が上の者を倒して地位を奪う、下剋上の風潮が広がった。
2. 将軍と御家人が、土地を媒介とした御恩と奉公の主従関係を結んだ。
3. 北条氏が執権の職に就き、幕府の政治を動かした。
4. 元軍の侵攻に対し、九州の御家人たちが防戦にあたった。

1. 銀は貴重な軍事機密として厳重に管理され、江戸幕府が成立するまで海外の商人と取引されることはなかった。
2. 大量の銀が海外へ輸出されたことで、16世紀後半には日本の銀が世界の産出量の約3分の1を占めるほどになった。
3. 生産された銀はすべて国内の寺院や仏像の装飾に費やされ、戦国大名の信仰心を深める役割を果たした。
4. 銀の増産によって日本独自の通貨制度が完成し、中国から輸入されていた銅銭は一切使われなくなった。